

トトロ通信 NO. 32

2014年12月号
津山・きびの会通信
〒708-0863 津山市小桁137-2
TEL 0868-23-0028
川島宅 23-3294

ご報告

KHJ愛知大会に参加して

我が家は今年39歳になる三男が、二人の兄に先駆けて、この度めでたく結婚した。その結婚の祝いに、家族旅行をプレゼントすると言う。私は差し迫ったKHJの第9回愛知大会に参加することを条件にそのプレゼントを受け入れた。11月1日の晩、神田洋一さんの弟さんが経営する下呂温泉の木曾屋に宿泊し、2日の12時からの大会に妻と息子と3人で参加した。今大会は4時間半という短い大会であったが大きな方向性が打ち出された大会になった。厚生労働省の役人がただの挨拶ではなく、軸足をひきこもり問題に向けていることを明らかにした大会であった。

KHJが立ち上がって14年にして、ようやく国が動く気配を示してきた。これまではひきこもり問題は否定的に捉えられてきたが、放置できない問題として積極的に対応する覚悟を決めているようである。KHJを立ち上げた故奥山雅之氏の願いが実を結びつつある。自分ではどうにもならなかった息子をみんなの力でどうにかしなければならないと思い、全国を駆け回り会を盛り上げてきた。

私はその息子が今どうなっているのか気になっているので、懇親会の席でその消息を聞きだそうとした。主だった昔からの2・3の仲間に聞いてみたがよくわからないらしい。奥山氏の息子が自分の足で自立した時、奥山氏の願いは叶えられたことになる。その原点をKHJは忘れてはならないと私は考えている。

5月に岡山・津山・松江と忙しく飛び回った池上正樹氏が、ネットで生まれた「ひきこもり大学」の構想をこの名古屋の愛知大会（愛知とは哲学を意味する）で具体的に披露した。300人近い参加者の前で、辛くてどうしようもない自分の人生を堂々とカミングアウトした伊藤美鳥さん。これは驚くべき表現であった。こんな想いをしてまで人間は生きているのだ。奥山氏の息子も自分の想いを表現して、親への恨みつらみをぶちまけたらよい。それが聞けるようになったら新しい世界の到来も夢ではないかもしれない。

KHJの何時の大会でも、大きな期待を持って参加するため、これまで軽い落胆を経験してきた私は、今回もその想いは同じだった。来年は第10回で、10月30・31日に、お隣の香川県の高松で開かれるとのこと。大変近いですから岡山や津山からも大挙して参加することも可能です。皆さん考えておいてください。

若者活動

行事

ボウリング大会をします

ボウリング大会をします。若者でなくても多くの方に参加していただきたいと思っています。急な案内なので、すでに別の予定が入っているかもしれませんが、可能な方はぜひ参加してください。

日時 11月22日(土) 午後4時30分～
場所 ツモクボウリング 津山市津山口337-7
参加費 1,000円(若者の参加費はきびの会から出します)
参加申し込みは藤本(090-2297-8804)まで

トトロの大掃除は 12月の活動最終日です

12月26日(金)で2014(平成26)年の活動は終了して、後は年末年始の休業ということにします。普段と同じように、13時30分にお集まり頂き、大掃除をして、ささやかな茶話会をして、今年の活動を振り返り、来年の抱負を語り合い、ちょっとした忘年会になればいいなあと考えています。

若者活動について 内容や時期などの 御希望をお寄せ下さい

○若者活動の内容や時期などについて、ご希望をお寄せください。少しでも希望に沿うように計画していきたいと思っています。

○平福での清掃活動ですが、若者2人は増えても大丈夫です。希望通りにはいかないこともあるとは思いますが、ぜひ、参加してみてください。平福での「はがき」「封筒」の作業は、それぞれ軌道に乗ってきました。若者の参加、大歓迎です。これも、希望どおりにいかないこともあるとは思いますが、一度経験してみてください。